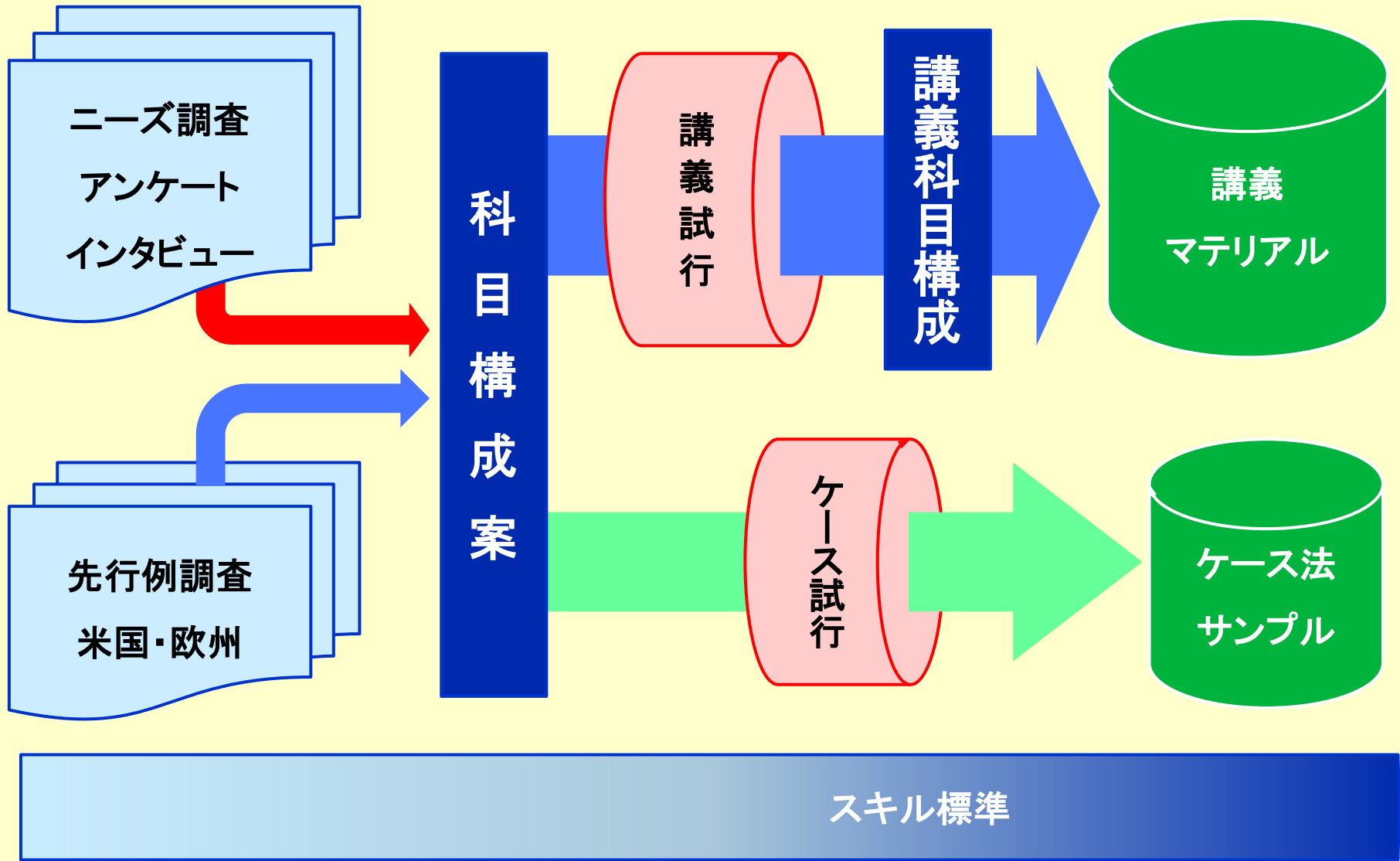


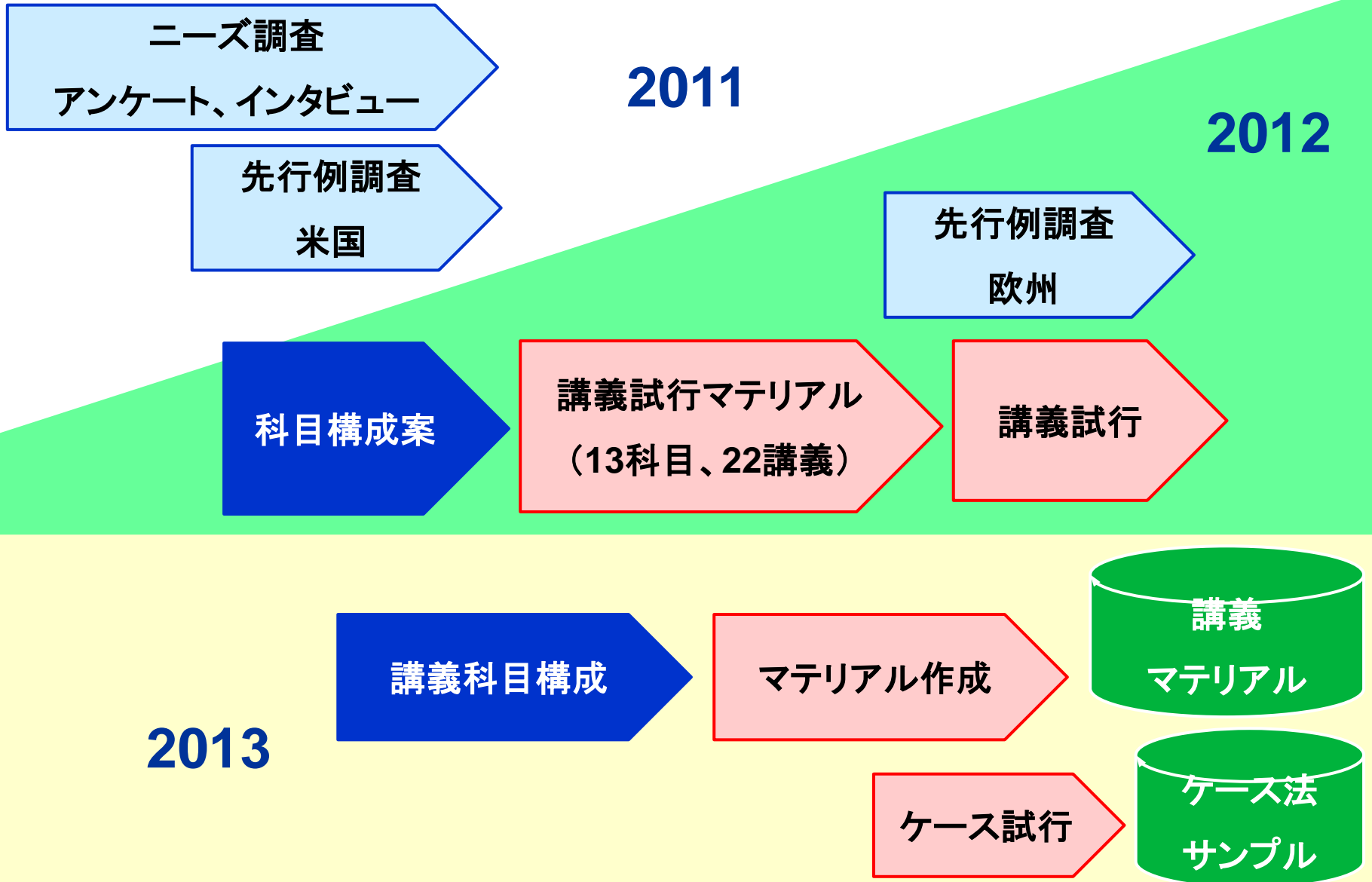
# 研修・教育プログラムの策定



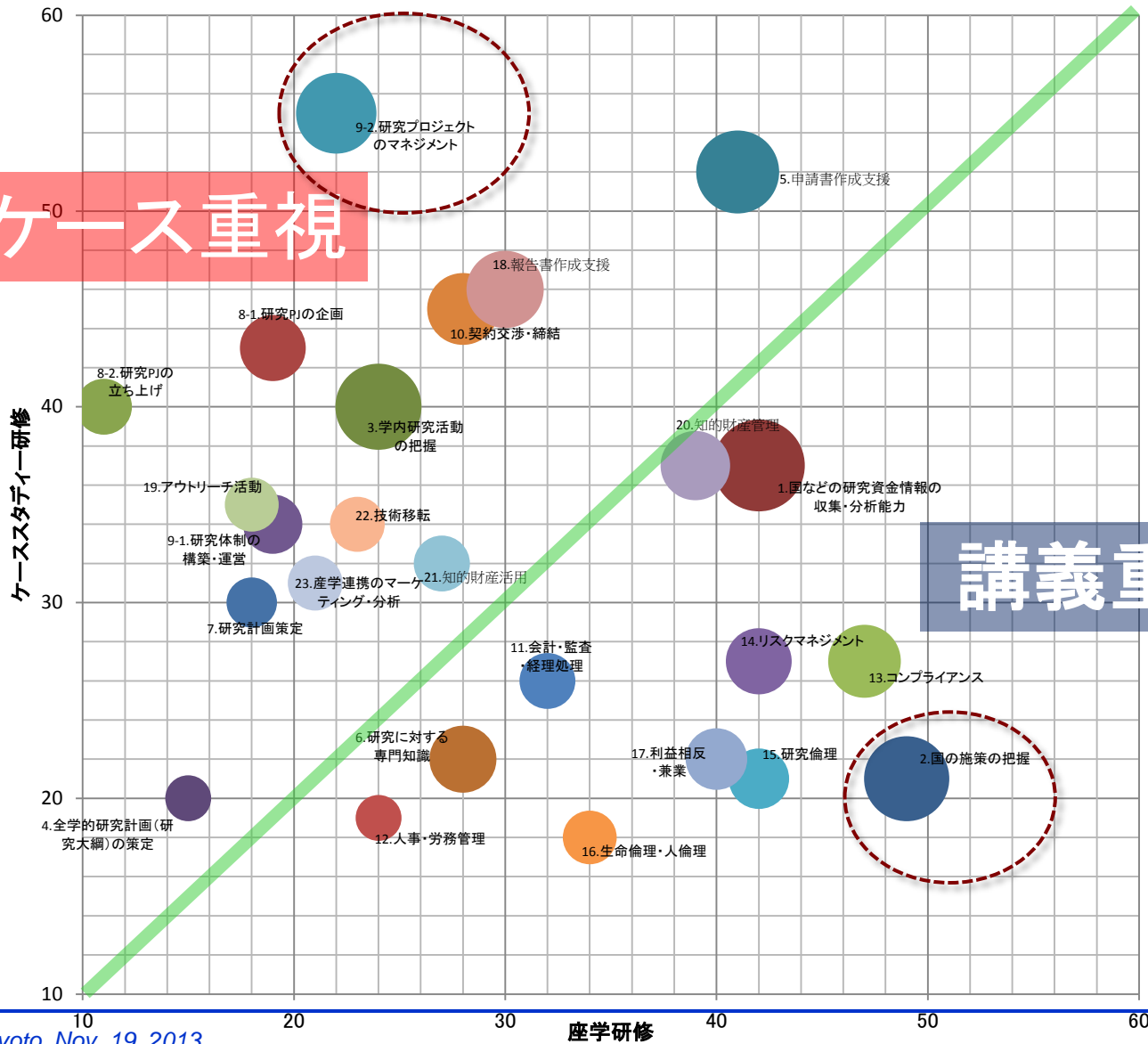
Nov. 19, 2013

*nakajima ichiro*





URAに必要とされる能力およびその研修形態



縦:「ケーススタディ研修が適当」票数  
 横:「座学研修が適当」票数  
 ※座学・ケーススタディ両方を選択可

バブルの大きさが[必要]の回答数を反映

ケース重視

講義重視

1. 講義実験の実施
2. 受講生アンケート分析
3. 講義マテリアル最終版へ



**受講生：** システム整備校等のURA 約90名

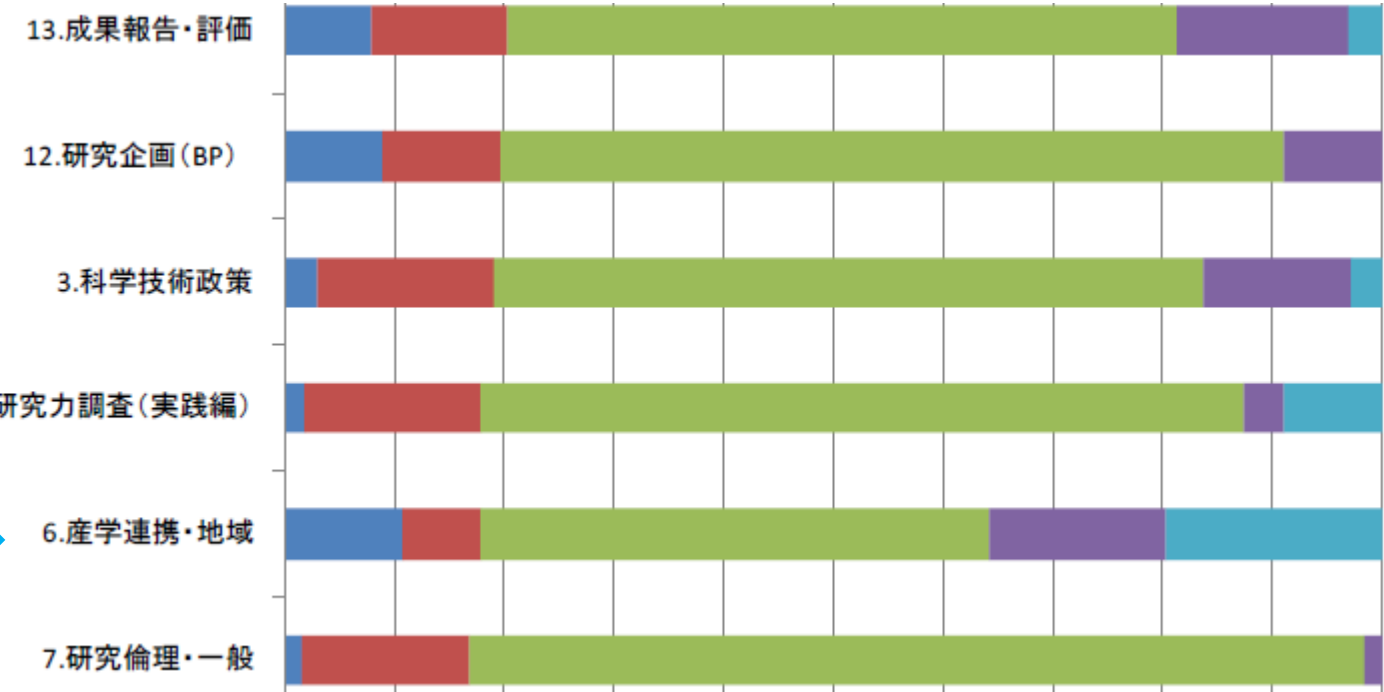
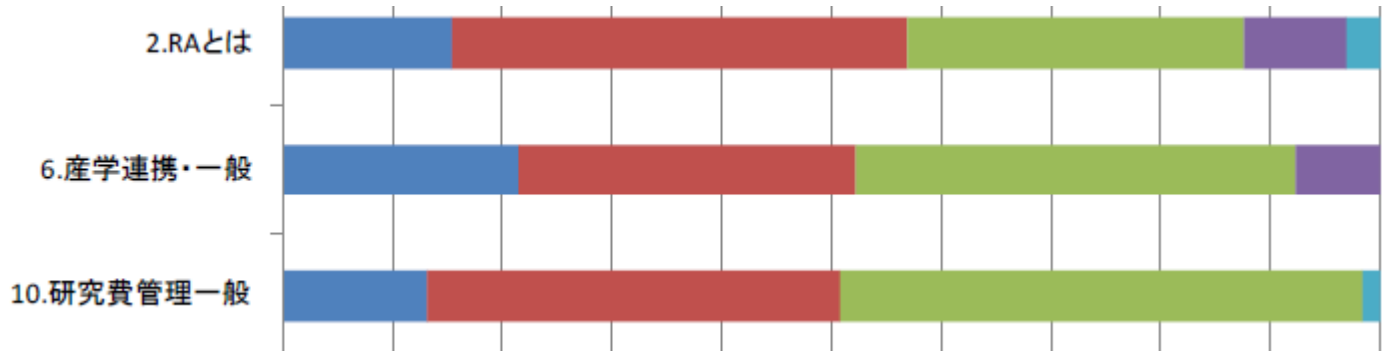
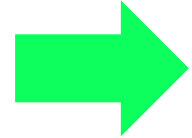
**期間：** 2013年3月6日～8日

**所要時間：** 90分×約17時限(13科目、22講義)

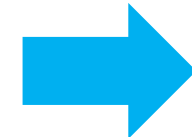
**場所：** 東京(早稲田キャンパス)

## 若手層の他、管理層からも多数参加





- a 初級者向け
- e どちらかという  
初級者向け
- c 両者
- d どちらかという  
経験者向け
- b 経験者向け



1. 科目の大多数は初中級**共通**に有効
2. **コンプライアンス**科目は**全員**に必要
3. 高度専門科目には**入門**的解説を追加
4. 関心が分かれるものは**選択**科目化
5. **スキル**標準案とわかりやすい対照関係
6. 以上を基に**科目群**を再編
7. 講師・聴講者用**ガイド**を追加



序論 (大学マネジメント概論、リサーチ・アドミニストレータとは)

専門科目D コンプライアンス (大学とコンプライアンス概論、利益相反総論、ライフサイエンスと利益相反、研究倫理総論、ライフサイエンスと研究倫理、大学と安全保障輸出管理)

専門科目E 研究事務 (研究評価対応、研究費管理1、研究費管理2、申請書・報告書作成支援)

専門科目A

調査・企画

(科学技術政策概論、研究力調査・分析入門、研究力調査・分析手法、研究プロジェクト企画手法概論)

専門科目B

対外連携支援

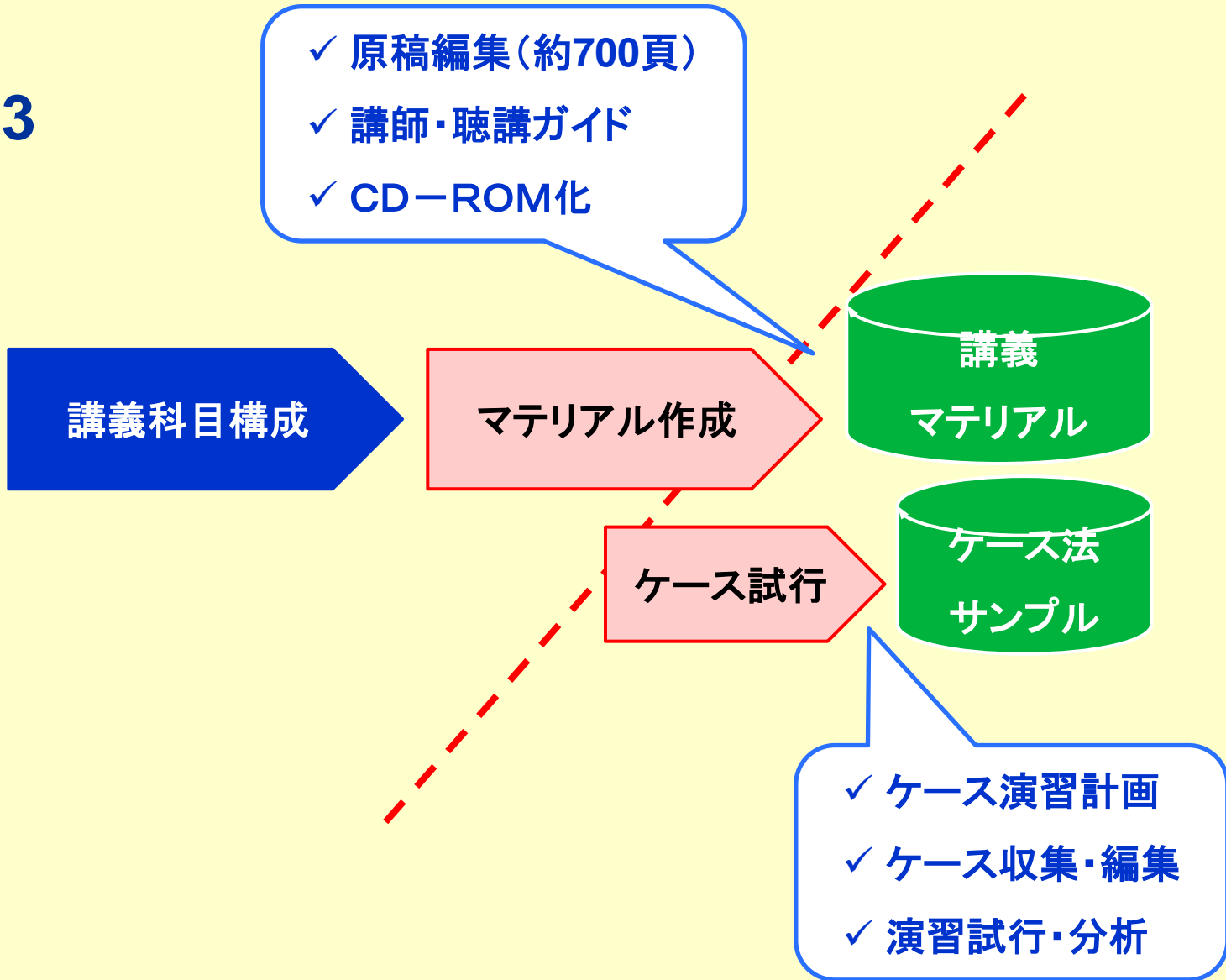
(大学と知的財産マネジメント、産学連携概論、地域連携概論)

専門科目C

アウトリーチ

(研究活動と広報、研究機関としての発信力強化、イベント開催関連業務)

2013



1. マテリアルの普及（出版、ネット媒体？）
2. 活用による共通研修・教育事業
3. 大学個別の研修・教育
4. ケース法の発展（収集・体系化、実施）
5. 講義マテリアルの改訂

# 「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」

スキル標準の作成／研修・教育プログラムの作成 合同シンポジウム

日時 : 2014年3月10日(月) 13:30—17:30

場所 : 東京大学 弥生講堂 一条ホール

プログラム : 文科省 基調講演

スキル標準の作成 講演

研修・教育プログラムの作成 講演

パネルディスカッション

主催 : 東京大学 早稲田大学